

第 70 回中区地域環境審議会会議録

1 日 時 令和 7 年 6 月 18 日（水）午後 2 時 00 分～午後 3 時 00 分

2 場 所 中区役所 6 階 大会議室

3 出席者

(1) 委 員

1 号委員 加藤哲征、武田初実、谷田耕造、永井康之、中野文子、林洋子、
松浦恵子、森紀樹

2 号委員 木村恭子、桑山欣士、吉田宏

3 号委員 白瀧正人、松本晃一

4 号委員 金谷明洋、鈴木貴博、林宏一郎

以上 16 名

(2) 事務局

中区保健福祉センター

安福所長、中嶋保健管理課長、藤原保健予防課長

西区保健福祉センター公害対策課

菱井課長、伊藤課長補佐（規制指導）、福田課長補佐（環境活動推進）

高柳主任、米谷技師、市川技師

以上 9 名

(3) 関 係

中環境事業所

中川所長

環境局地域環境対策課

伊藤課長補佐（水循環）

以上 2 名

4 傍聴者

2 名

5 会議内容

(1) 開会

- ・中嶋課長から委員の半数以上が出席しており会議が成立していること、傍聴者数は2名の報告があった。
- ・森会長から挨拶があった。
- ・安福所長から挨拶があった。
- ・中嶋課長から関係者の紹介があった。また、会議録作成のため会議の内容を録音することの了解を求めた。
- ・森会長から、会議録の確認については谷田副会長が指名された。

(2) 議事

議題1 水の環復活なごや戦略実行計画 2030 について

森 会 長 それでは、議事に入ります。議題1、水の環復活なごや戦略実行計画 2030 について、関係者から説明をお願いします。

伊藤課長補佐
(水循環) <資料 1-1、1-2 に基づき説明>

森 会 長 ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問等ございますか。どうぞ。

永 井 委 員 永井でございます。大変貴重な取り組みありがとうございます。
ちょっとご質問させていただきたいと思うんですけれども、資料のスライドにもありましたが6ページのところで水収支の目標の話がありまして、2050年の目標が書いてあって、その下のところに水収支の目標は達成できなかったということのお話がありまして、一方で、市街地における個別の取り組みが見えなくなってしまうことが課題だというお話ありましたが、その25年の目標があつてそれが達成できなかったという趣旨なのか、50年の目標にめがけて、まだ、今のところビハインドしているという趣旨なのか。
ちょっとその趣旨がよくわからなかったのとですね、あとそのもう1つが市街地における個別の取り組みが見えなくなってしまうことが課題ということの意味が、個別の取り組みがその水収支にはあまり

表れてこないという意味なのか、この目標、この水収支を目標にすることがあんまりよくよろしくないという趣旨なのか、ちょっとそこら辺のご趣旨がちょっとよくわからなかったものですから、ご説明いただければと思います。

伊藤課長補佐（水循環） はい、ちょっと私の説明が足りてない部分がありましたので、すみません。

2020 年の目標としましてちょっとこちらのスライドには書いてないのですが、水収支の目標としまして、蒸発散が 25%、浸透・留が 18%、直接流出が 57%という、2020 年の目標を立てています。ただ水収支という、そちらの目標については達成ができなかったというものでございます。というのと、水収支、これ計算する際にですね、緑被率というものを使って計算しています。これは航空写真の方で、緑地の面積によってパーセンテージを出していくというものでございますので、そういった仕方をすると、なかなか緑が増えていかない状況でございますので、なかなか取り組みを進めても水収支に現れてこないというのが多くありますので、その多く現れてこないものを追っていくと、なかなか達成感というのも、市民の方もないですし、我々行政の方もないので、それとは別に、概要版の方の 5 ページですかね、5 ページに重点施策が書いてあります。そちらにですね、指標というものがそれぞれ書いてあります。3 つ施策、重点施策と言われる青い囲みと緑の囲みとピンクの囲みでございます。こちらのそれぞれの中段辺りに指標というのが書いてありますので、こういった個別の指標を達成させていただいて、水収支を諦めるわけではないんですけども、こういった個別の指標を達成させていただいてこちらを追っかけていくような形で、今後施策を進めさせていただきたいなというふうに考えているところでございます。お願いいたします。

永 井 委 員 大変よくわかりました。どうもありがとうございます。

森 会 長 他によろしいでしょうか。どうも、ありがとうございました。それでは質問もないようですので、次の議題に参ります。それとですね今ご説明いただいた課長補佐が都合により退席されますので、どうもご苦労さまでした。

議題 2 令和 6 年度中区における公害苦情処理状況及び環境教育事業について

森 会 長 続きまして議題 2、令和 6 年度中区における公害苦情処理状況及び環境教育事業について、事務局の方から説明お願いいたします。

伊藤課長補佐
(規制指導) <資料 2-1、2-2 に基づき説明>

森 会 長 はい。ありがとうございました。ただいまの説明につきましてご意見ご質問等ございますでしょうか。これ例年、夏休みとか、いわゆる親子とか、子供さん中心としてやっているやつですね。

伊藤課長補佐 はい、そうです。昨年度も実施しておりまして、今年度も同様に実施
(規制指導) する予定でございます。

森 会 長 よろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。

議題 3 中区における有機フッ素化合物（PFOS 及び PFOA）の調査結果について

森 会 長 それでは次の議題に参ります。議題 3、中区における有機フッ素化合物の調査の結果につきまして事務局の方から説明をお願いいたします。

伊藤課長補佐
(規制指導) <資料 3 に基づき説明>

森 会 長 はい。ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
先ほど最初の、堀川に井戸というか、地下水掘って返すっていうのが、アーバンクアとカーマの前で掘って、水質調査して返す場合、フッ素化合物が出たら、処理して新堀川に返すという計画なんですかね。どうなんでしょう。

伊藤課長補佐 今回先ほど紹介のあった井戸。
(規制指導)

森 会 長 今回のですね。だから井戸掘って、それをまた新堀川の浄化のために、新堀川の周辺のところから返すっていうふうで、そんなに流量は多くないけどということがありましたよね。どうせこういうのが出たもんだから、1回、せっかく井戸掘ったら調査してみて、もし出ちゃったら、浄化して返すつもりですよ。いくら飲用はしないと言いながらも、調査して出ちゃった以上はどうなんですかね、その辺は。

伊藤課長補佐（規制指導） どのような計画になっているかというのはこちらも把握していないのですけれども、掘った地下水をですね、PFOS ですか PF0A を調査するかどうかというところは、ちょっと我々もお聞きしていないところではあるのですけれども。

森 会 長 ちょうど、今この審議会ですし、隣の席だったので、横の繋がりです。その辺は、せっかくこういう結果も出ているので、まあ一回、水は返すことはいいと思うんですけど。

菱 井 課 長 はい。良いご質問ありがとうございました。一般的にこういう場合は、有害物質は測定をするのですが、PFOS とか PF0A については最近問題になった物質ということで、有害物質というカテゴリーにはまだ入っていないという状況になりますので、おそらく調査はしてないと思います。ご意見があったことは担当部署の方にお伝えさせていただきまして、何らか回答できることがあれば、また改めて回答させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

森 会 長 はい。確かに最近の概念かもわかりませんが、せっかく調べる以上ね、ちょっと、同じ審議会です。そういう話が出たのでよろしくお願いいたします。他によろしいでしょうか。

議題4 令和7年度環境局の主な取り組みについて

森 会 長 では続きまして議題4、令和7年度環境局の主な取り組みにつきまして、また事務局の方から説明をお願いいたします。

菱 井 課 長 <資料4に基づき説明>

森 会 長 はい。ありがとうございます。では、ただいまの説明につきましてご意見ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。
はい。それでは、質問もないようですので次の議題に参ります。

議題5 その他

森 会 長 続きまして議題5、その他なんですが、事務局より何かありますでしょうか。

伊藤課長補佐（規制指導） はい。よろしくお願いします。前回の審議会におきまして令和6年度版名古屋市環境白書について、こちら事務局の方からご説明差し上げた際にですね、松浦委員より、ゆとりーとラインについて混雑状況ですとか、車両調達が困難である旨の報道があったということで、環境白書においてはですね、機能強化というふうに記載がありましたので、名古屋市として強化していくつもりかといったご質問をいただいております。

審議会の後ですね、所管課であります住宅都市局交通事業推進課の方に確認をいたしまして、回答がありましたので、この場でご報告させていただきます。内容といたしましては、ご質問にありました通りガイドウェイバスは特殊な車両となっておりますして車両更新や増車が非常に厳しい状況ということです。そこで現行のガイドウェイバスに代わる自動運転技術を活用した、バス車両等の導入について検討を進め、将来の輸送力増強やノンステップバス化によるバリアフリー対応等を目指していきますといった回答でございましたので、この場でご報告いたします。以上でございます。

森 会 長 よろしいですか。

松 浦 委 員 今もう作られている高架のガイドレールはそのまま活かされるということですか。新しいその車両になった場合、システムになった場合。

伊藤課長補佐（規制指導） レールを残すかどうかというところのご質問ということよろしかったですかね。

松 浦 委 員 そうです。活かされるか、それも無駄になってしまうかっていうことです。

伊藤課長補佐 レールを残すかどうかというところはですね、回答の中にはなかったんですけれども、ただ、引き続きですね、ガイドウェイバスに代わるバス車両の導入、自動運転技術を活用したバス車両の導入ですとか、あとは将来を見越してですね、バリアフリー対応といった対応等を目指すというふうには聞いておりますが、ちょっとレールを残すかどうかというところはわからないんですけども、そういった形で車両の導入はしていくということは聞いております。

松 浦 委 員 わかりました。せっかくいいシステムだと思っておりますので、なるべくその活かされることを願っております。

森 会 長 はい。他によろしいでしょうか。
はい。それでは本日の議題はこれですべて終了いたしました。全体を通してご意見等ございますでしょうか。どうぞ。

林（宏）委員 林でございます。主に水のことですね、2030 年に向けてということで、ひとつ区切りがあって今、あと 5 年ほどということになるんですけども、皆さん 2050 年、その先の 50 年があるから、2030 年はとりあえずいいかみたいな感じでいるのか、それともやはり水って大事だよなって、今世界的に非常に混乱しておりますけども、最終的には水の取り合いになるんじゃないかっていう話も、皆さんよくいろんなところで耳にされてるかと思います。そういう点では日本は一応海水ですけども、島国で周りには水がいっぱいあるわけで、そういったところの活用であつたりとかってというのは、現時点でもやってることだとは思いますが。

治水っていいですかね、今のところ水を、雨が降りてきたところの、やはり水をため込むところのシステムは、都市部の方では進んでると思いますけども、浸透させるというところでは、先ほどの事例、京都市の事例とかもお伺いをさせていただいて、できることからやるということはとても大事なことでありますけども、何とかみんなが 2030 年までにまず目標値に近づけるっていう、どこまでの意気込みがあるのかなっていうのをちょっと聞いてみたいと思います。
僕たちが、周知っていうところで、私たちが周知をするというよりはその辺りはすいません、行政の方が中心になって周知をしていただくことだと思いますけど。予算のない限られたところだと思います

けども、本当にやる気があるのかどうかというところを聞きたいなと思います。

菱井課長 貴重な意見ありがとうございます。以前この計画に関わったことがあります、やはり最初に2050の目標を作ったときにはですね、本当にこんなことが2050年にできるのかというご意見をたくさんいただきました。そういうこともございますので、やはり中間的な評価の部分でも、しっかりやっていくべきかなと思っておりますし、おそらく所管課もそう思っていると思いますが、そこら辺の意気込みをまた確認をさせていただきまして、お伝えをさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

森会長 はい。ありがとうございました。他によろしいでしょうか。
はい。それでは本日の議題は、これで終了いたします。最後に事務局から連絡あるそうですのでよろしくお願いします。

伊藤課長補佐（規制指導） はい。3点ご連絡差し上げます。まず1点目でございますけれども、報酬につきましては、以前登録いただきました口座に会議終了後、2週間前後で振り込まれる予定でございます。
2点目ですけれども、次回の会議は、会議次第下段に記載しました通り、1月21日水曜日で予定をしております。
また期日が近づきましたら、開催のご案内を差し上げますので、よろしくお願いいたします。
最後に本日お配りした名水でございますけれども、上下水道局から災害用備蓄飲料水としていただいております。飲まれていない方はぜひご自宅にお持ち帰りいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

森会長 はい。それではこれで会議を終了いたします。本日はお忙しい中、円滑な議事進行についてご協力いただきましてありがとうございます。どうもお疲れ様でした。

（閉会）

調製者 中区地域環境審議会会長 森紀樹

確認者 中区地域環境審議会副会長 谷田耕造